

公民館だより

なかがわ

第518号

令和8年1月7日
発行 中川地区公民館
TEL.Fax : 679-2501



明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年も、皆様のご理解とご協力により、多くの事業を開催することができました。心より感謝申し上げます。

令和8年も多くの方より公民館に足を運んでいただけるよう、公民館職員一同一生涯懸命努力して参りますので、変わらぬご支援ご協力を願い申し上げるとともに、皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年の挨拶といたします。



中川地区公民館職員一同



1月・2月 行事予定



1/5(月)	仕事始め 市民新年祝賀会	2/3(火)	予算審議会、三者会、会長会 公民館運営協議会
1/6(火)	会長会、公民館運営協議会	2/7(土)	笑いと健康のつどい
1/7(水)	市報、館報 中川地区新年祝賀会	2/10(火)	粹いき倶楽部（職員不在時間あり）
1/9(金)	粹いき倶楽部（職員不在時間あり）	2/13(金)	パソコンクラブ
1/13(火)	出前スポーツ教室「ストレッチヨーガ」	2/17(火)	そば打ち愛好会
1/14(水)	福祉村だより編集委員会	2/20(金)	出前スポーツ教室「シャフルボード」
1/16(金)	パソコンクラブ	2/24(火)	子ども会育成会反省会 一般講座「煎茶の美味しい淹れ方教室」 ※2月の館報で募集します
1/20(火)	そば打ち愛好会	2/27(金)	市報、館報、福祉村だより
1/23(金)	冬に遊ぶ会		
1/27(火)	一般講座「米袋でエコバッグを作ろう！」		
1/30(金)	市報、館報		

詩吟教室 (火曜日) 1/13、20、27

ラージピンポン愛好会 1/8、15、22、29
(木曜日)

スポーツ麻雀愛好会 1/8、15、22、29
(木曜日)

【一般講座】

初級編！

「コメ袋でエコバックを作ろう！」

日 時：1月27日（火）10:00～12:00頃

場 所：中川地区公民館 集会室

講 師：米袋バッグ工房「とあーる」とみたりえこさん

内 容：10kgのコメ袋で、小さめのエコバックを2個作ります！

材料費：600円（つり銭のないようにお願いします）

持ち物：はさみ、洗濯ばさみ（4～5個）、

定規（30cm・ある方のみ）

必要な方は眼鏡、飲み物



対 象：中川地区民

定 員：先着13名程度

締切日：1月19日（月）

（締切日はありますが、定員になり次第、受付終了）

※公民館に見本がありますので、お声かけ下さい。

参加者募集

わんぱく広場



「冬に遊ぶ会」

スノーフラッグ、
宝探しゲームで遊ぼう！

日 時：1月23日（金）19:00～20:00

場 所：中川地区公民館 広場

対 象：中川地区の小学1年生～6年生

参加料：無料

持ち物：雪遊びができる服装・飲み物・タオル
内ズック（天候により内容変更の時使用）

※詳細は、小学校配布チラシをご覧ください。

冬の運動不足解消しませんか？



出前スポーツ教室

募集中です！まだ十分空きがありますので、
公民館まで電話や来館にてお申込み下さい。
(申込用紙がなくても大丈夫です)

1月13日（火）	ストレッチヨーガ (ヨガマット等必要)	各15名 10時～11時 中川地区公民館
2月20日（金）	シャフルボード	

「笑いと健康のつどい」

山形落語愛好協会

落語を聞いて大いに笑って、
健康と元気を手に入れよう！

日 時：2月7日（土）13:30～15:00頃
場 所：中川地区公民館 集会室

入場料：無料

対 象：中川地区民

定 員：80名程度

持ち物：内履き

※詳細は、地区回覧
チラシをご覧ください。



お申込み・お問合せ：中川地区公民館（☎679-2501）

「グラウンド・ゴルフ愛好会」反省会

11月26日（水）、グラウンド・ゴルフ愛好会反省会が行われました。一人ずつ感想を言っていただき、「皆さんに助けられてプレーが出来た。」「色々な大会に参加出来て楽しかった。」「来年も楽しく頑張ります。」という言葉が多く、楽しい時間となっていましたことが伝わってきました。来年度も笑顔いっぱいで楽しい時間を過ごし、賞を目指し頑張って練習していきましょう！！



防犯協会中川支部研修会

11月28日（金）、防犯協会中川支部研修会が開催され、上山警察署溝越浩明駅前交番所長から、冬を迎えるに当たって雪害などの防災上の留意点や、県内及び上山市内の交通事故や犯罪の発生状況、特に特殊詐欺を防ぐ上で、固定電話に国際電話がかかってこないようにする重要性や、そのための手続き方法などについてお話を伺いました。



【一般講座】「初めてのフランス刺繍」



11月25日(火)、12月2日(火)に、一般講座「初めてのフランス刺繡」が、講師の高木直先生をお迎えして開催されました。先生より下書きをしていただいた布・糸・針が入ったキットを準備していただき、刺繡をするのが久しぶりの方も多かったので、わからないところはすぐに聞きながら作成していました。時間のかかる作業ですが、「楽しい～」という声も聞こえてきて、クリスマスにぴったりの作品が出来上がりました♪

中川地区食生活改善推進協議会主催 消費者生活講座「たかめよう！消費者力」

12月5日(金)、中川地区食生活改善推進協議会主催「消費者生活講座たかめよう！消費者力」が開催され、山形県消費生活センター鈴木朗子相談員にお越しいただき「特殊詐欺・消費者トラブルと食品ロス」をテーマに、実際に山形で多く相談が寄せられる事例をあげてお話しいただき、体験談を聞くことで、これから自分に起こった場合の対応策などを学ぶことができ、参加された皆さんは真剣に聞き入っていました。



公民館大掃除

12月5日(金)は、中川地区食生活改善推進協議会の皆さんにより調理室を、12(金)は各地区会長さんははじめ、多くのボランティアの皆さんのご協力により公民館の大掃除が行われました。寒い中での作業となりましたが、内外からのガラス磨き、床の拭き掃除にワックスかけ、下足入れ掃除やスリッパ拭きなど、職員だけでは手の届かないところまできれいにしていました。令和7年もたくさんの方々に支えられた一年でした。皆様、本当にありがとうございました。

しめ飾り作り

12月20日(土)、「しめ飾り作り」が開催されました。齋藤晃一さん(薄沢)、武田麻奈美さん(高野)の指導のもと、「飾り作り」「縄ない」「飾り付け」等の実技を見て聞いて、悪戦苦闘しながらも、皆さん見事にしめ飾りを完成させていました。一生懸命な思いを込めて作ったしめ飾りは、きっと多くの幸を連れて来てくれる事でしょう。令和8年も健康で幸多き年でありますように・・・



【一般講座】「フラワーアレンジメント教室」



12月23日(火)、つかさ花店さんより来ていただき、一般講座「お正月用フラワーアレンジメント教室」が開催され、たくさんの方が参加されました。若松や南天がお正月らしさを引き立て豪華な仕上がりになり、とても素敵な作品が出来ました！

おらほの中川 ＜地域の話題シリーズ 第二百七弾＞

「昭和考、問わず語り（その59）」

昭和十二年十二月の南京占領を前後して市民虐殺が行なわれたが、また戦線の背後では、慰安婦という争犯罪も起きていた。名を隠した本稿は、日本軍の戦争犯罪と追い込まれて行く国内の状況について記述します。

（従軍慰安婦といつ戦争犯罪）

日本軍の将校を対象とした性処理施設についての公式の記録はない。あるのは、慰安婦を検診した軍医たちの記録、慰安婦を目撃した看護婦、作家家の追跡調査したドキュメントなどで、断片的に知られるにすぎない。「昨年一月小官上海郊外勤務中、一日命令二〇コリ、新奥地へ進出スル娼婦ノ検バイフ行ヒタリ。ノ時ノ被検者ハ半島婦人（當時、日本人は朝鮮を半島と呼ぶことがあつた）八十人、内地婦人二三十人、半島人ノ内花柳病ノ疑ヒアル者ハ極めて少數ナルモ、内地人の大部分ハ現ニ急性症状状況ナシコメテソシテ、ナキモ、甚だ如何（いかが）ハシキ者ノミニトスラニル者ノミナリキ。アリド既往ニ賣淫稼業ヲ数年経来シリ多キト興味アリ。」（昭和十二年十一月二十八日上海に上陸した麻生徹男軍医が、十四年五月二十六日上海に開設された軍直轄の慰安婦講演の軍医会同で「花柳病ノ積極的予防」を演じた論文の一部）

ト家安（中略）慰安婦の最大の供給源は朝鮮における日本人女子軍属が、太平洋戦争末までに総数十人で日本軍の強制連行は、戦争犯罪は、戦線の背後で、日本人女子軍属が、慰安婦となると、その形式で完成した。（写真①、②）迫られたのである。太平洋戦争末期において、南洋に行われたのである。されば軍は世話をすることはできない、と迫られたといふ報告もある。

慰安婦とされた女性たちの中には、戦争が終わっても故郷に帰れない者も多かった。名を隠したまま朽ち果てていく元慰安婦の声は、今も伝えられる。『昭和の二万日の全記録』（講談社刊より）

（戦時体制強化の下での国内情勢）

戦時体制が強化されつつあった日本国内は、軍需景気にわき、娯楽産業が栄え、国内観光地の数が増え、デパートの売り上げが急上昇し、投機的の衣服の需要の高まりによって、農村部で軍用ものの供給が増え、昭和恐慌以来の大学生の就職難生も増え、就職先も増えた。戦争に反対する空気が少なかつたため、軍需景気によつて利益を得た、あるいは利害を争う者が多かつたためである。

と指摘されている。しかし、国際的な孤立のなかでは戦費は自前で調達するほかはなく、その資金は大量の公債発行と増税で賄われた。また、鉄材を軍需に優先的に分担するため新規の大規模建築工事は中止となり、昭和十五年開催予定の東京オリンピックや万博も会場建設工事ができなくなつた。その年の六月にオリンピックは返上、万博は延期となつた。

（傀儡政権の樹立、東西新秩序声明）

汪兆銘は、三年十一月三日に声明を発し、「日本の戦争目的による東南亞等作るたための中国政府が親日に態度を変える」とした。声明とよばれる（写真③）は、声明を発表するところである。

甲石地区 高橋 正之

同十三年十二月中旬、汪が重慶を離脱し、翌十四年三月、南京を首都とし、中華民国を国号とし、汪兆銘を首班とする親日傀儡政権が日本によって樹立されたが、完全な傀儡政権で、統治能力はほとんどなかつた。

（近衛内閣の総辞職、平沼内閣が政権引き継ぎ）

向閣（第一次）は、昭和十四年一月総辞職、近衛の意内で平沼騒一郎枢密院議長が政権を引き継いだ。平沼首相は、ドイツから持ちかけられた米英中圧力をかけられたが、手共に協定強化問題について推進を主張する陸軍と、英米の対立を強める原因となるとして反対する昭和史ちくま新書）、「昭和史」（古川隆久著）によると、ソ天皇や海軍との板挟みとなり、同十四年八月の独和米の不^可侵条約締結を機に総辞職した。（古川隆久著）

（次回は、ノモンハン事件、米國の通商条約破棄について記述する予定です。）



（写真①）



（写真②）



（写真③）